

# 2023年度茨城大学模擬授業一覧：農学部

No.	授業科目名	学部・学科等	授業概要	分類	担当教員	研究分野	模擬授業タイトル	キーワード	オンライン対応	50分前後授業対応可否	SDGs該当番号	主な対象学年	備考	模擬授業可能曜日時間帯
1	食品の科学		私たちの生命維持に欠かせない「食」について、食資源としての農畜産物の利用、加工・保蔵・流通・衛生など食の安全性、食品成分の機能など、様々なキーワードに焦点をあて、わかりやすく解説します。	A1	上妻由章	食品分子機能学	酵素と機能性食品の話	(食品機能・酵素)	○	○	3	全学年	希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。	6月～9月：火・木午後 10月以降：水・木午後
				A2	白岩雅和	食品生化学	私たちはなぜ毎日食事をするの？	(食品のもつ3つの機能と健康)	○	○	3,12	全学年		月・火 午後
				A3	鈴木穂高	食品衛生学	身近な食中毒／フグ毒の話（どちらか）	(食中毒菌・魚貝毒)	△応相談	○	2,3,12,14	全学年		水・金 午後
				A4	長南 茂	食品生化学	微生物と酵素のはなし	(微生物・酵素)	○	○	3	全学年		水 午後
				A5	豊田淳	動物生命科学	脳とこころの健康を維持する食	(食・脳の健康)	○	○	3	全学年		月 午前
				A6	中村彰宏	機能材の開発	食品加工における食品機能素材の役割と品質評価	(食品の物性・加工)	○	○	3	全学年		6月～9月：月・金午後 10月以降：金午後
				A7	宮口右二	畜産物科学	食肉製品の品質向上・未利用食資源の有効活用	(畜産物・未利用資源)	○	○	2,3,14	全学年		月 午前
				A8	鎗田 孝	食品分析化学	食品の安全を見守る“食品分析”	(食の安全・食品の化学分析)	△応相談	○	3,9,12	全学年		月・火・木 午後
2	バイオサイエンス入門	農学部 食生命科学科	人類の生存は様々な生物の生命活動によって支えられています。この授業では、動物・植物・微生物による生命現象の科学やそれを応用した技術について、授業担当者の専門に関連した内容を分かりやすく紹介します。	A9	朝山宗彦	藻の分子生命科学	藻のヒミツ教えます！ 藻の探索・遺伝子・有用物質生産開発	(飲食品、化粧品、医薬品、燃料生産)	○	○	3,7,9,13	全学年	希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。	月・木 午後
				A10	上塚浩司	動物保健衛生学	動物との共生と生物多様性	(動物の健康、生物多様性)	○	○	14, 15	全学年		6月～9月：応相談 10月以降：水・木
				A11	大久保武	動物科学	食欲と生殖の関係を探る	(ホルモン、生殖の科学)	○	○	3	全学年		火・金 午後
				A12	小川恭喜	動物微生物	動物の病気	(免疫入門、病気)	○	○	3	全学年		月・金 午後
				A13	金澤卓弥	動物細胞遺伝学	乳腺・哺乳類の子育てを支える器官	(乳汁分泌、乳癌、器官形成、ホルモン、細胞成長因子)	△応相談	○	1,2	全学年		木 午後
				A14	小島俊雄	生物化学	植物の環境応答－化学と生物学の視点から－	(生命の化学、大学で学ぶ生化学)	○	○	15	全学年		月・木 午後
				A15	鈴木義人	化学生態学(天然物化学)	植物ホルモンを介した生物間相互作用	(植物ホルモン、生物間の化学的相互作用)	○	○	15	全学年		6月～9月：月～木 10月以降：水・木
				A16	須藤まどか	反芻動物の生理	草から肉を作る－反芻動物の消化吸収機構	(動物の栄養、代謝)	○	○	13,15	全学年		10月以降：月・木
				A17	戸嶋浩明	有機化学、天然物化学、生物有機化学	天然毒から農薬・医薬の開発へ	(生物毒の利用、化学合成と薬)	○	○	2,3,9,12	全学年		木 午後
				A18	中平洋一	植物分子生物学	植物バイオでつくる「食べるワクチン」	(植物バイオ、遺伝子組換え)	○	○	2, 3, 9, 14	全学年		月・水 午後
				A19	成澤才彦	微生物生態学	微生物が花を咲かせる！？	(農業を救う菌、共生)	○	○	1,2,8,13,15	全学年		月・火・金 午後
				A20	西澤智康	環境土壌学、地圏生態化学、応用環境微生物学、微生物地球化学	微生物と気候変動	(土壌微生物生態、微生物代謝機能、物質循環)	○	○	2, 7, 13, 15	全学年		10月以降：火・木午後
				A21	西原宏史	応用微生物学	低炭素社会に貢献する水素細菌	(微生物と水素)	○	○	7, 9	全学年		木 午後
				A22	長谷川守文	天然物化学	植物の自己防御物質の化学	(有機化学、植物、植物病原菌、抗菌性物質)	○	○	2,9,15	全学年		6月～9月：月・木 10月以降：火・金 (それ以外の曜日も応相談)
				A23	安江健	畜産学・家畜行動学	家畜の行動を活用する－歴史的意義と現代的再構築	(動物の行動とその利用)	○	○	2, 3, 15	全学年		月・木 午後
				A24	小針大助	動物行動学・動物管理学	ヒトと動物の関係を考える	(アニマルウェルフェア・人と動物の関係)	○	○	2,3,12,13	全学年		午後
				A25	吉田 悠太	動物生理学	味覚の科学	(嗜好性、生活習慣病、バイオセンサー)	○	○	2,3,9	全学年		通年可、応相談

# 2023年度茨城大学模擬授業一覧：農学部

No.	授業科目名	学部・学科等	授業概要	分類	担当教員	研究分野	模擬授業タイトル	キーワード	オンライン対応	50分前後授業対応可否	SDGs該当番号	主な対象学年	備考	模擬授業可能曜日時間帯
3	作物生産の科学	農学部 地域総合農学科	作物生産は、人が植物の力を借りて太陽エネルギーを食糧として収穫する営みです。農業科学では、高品質で安全な作物を持続的に生産し利用するために、植物やその栽培環境について研究することで様々な技術が開発されています。これらの素晴らしい技術の一端を最新のトピックスを交えて平易な言葉で紹介いたします。	A26	浅木直美	作物栽培学	身近な有機質肥料と作物の栽培	(身近な有機質肥料と作物の栽培)	○	○	2,9,13,15	全学年	希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。	応相談
				A27	井上栄一	園芸学	植物の開花生理と作物栽培の関係	(生殖成長、栄養成長、開花ホルモン、フロリゲン)	○	○	2,9,13,15	全学年		応相談
				A28	菊田真吾	農業学	農作物生産を支える農業の役割	(農業の今昔と未来)	○	○	2,9,12,13,15	全学年		応相談
				A29	北嶋康樹	応用昆虫学	食品への異物混入対策としての害虫管理	(食品害虫、異物昆虫、食品工場)	○	○	2, 12, 15	全学年		応相談(火曜不可)
				A30	久保山勉	植物遺伝育種学	植物の遺伝資源と育種	(植物の遺伝資源と育種)	○	○	2,9,13,15	全学年		6月～9月:火・木 10月以降:木午後
				A31	佐藤達雄	植物保護学	植物の免疫システムの仕組みと免疫活性化技術	((植物免疫))	○	○	2,9,13,15	全学年		応相談
				A32	七夕小百合	土壌肥料学、植物栄養学	作物生産を支える土壌と肥料	(土壌、肥料、植物栄養)	△応相談	○	2,9,13,15	全学年		応相談
				A33	中島雅己	植物病理学	環境にやさしい植物病害の防除	(農業と植物の病気)	○	○	2,9,14,15	全学年		応相談
				A34	古谷綾子	植物病理学	植物病原細菌と遺伝子工学	(植物病原細菌、バイオテクノロジー)	○	○	2,9,14,15	全学年		応相談
				A35	望月佑哉	青果物利用学	野菜の収量とおいしさ	(収量、品質、鮮度保持)	○	○	2, 3, 9, 13	全学年		月・火・水
4	地域との共生を考える	農学部 地域総合農学科	生命を育む基盤である農村地域や農地、水、地域環境の保全と再生、防災・減災や、さらには地域の問題の解決について、その理論と実践の一端を、各教員がそれぞれの専門の見地から平易な言葉で紹介いたします。	A36	伊丹一浩	農業史・環境史	フランス・アルプスの農業と地域の歴史	(フランス・アルプスの農業と地域の歴史)	○	○	15	全学年	希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。	応相談
				A37	内田 晋	環境経済学	エネルギー産業としての農業	(農業とエネルギー)	○	○	2,7,9,15	全学年		6月～9月:月 10月以降:可
				A38	黒田久雄	農業水利学	これからの水田稲作について	(農業活動と環境)	○	○	2,6,13,15	全学年		9月、10月、11月可 他は応相談
				A39	小松崎将一	有機農業	フィールドで学ぶ有機農業	(フィールドで学ぶ有機農業)	○	○	2,13,15	全学年		応相談
				A40	長澤淳	農業経済学	データで見る世界農業	(データベース、農業、経済)	○	○		全学年		応相談
				A41	西川邦夫	農政学	日本の稲作の生き残り戦略	(米・米加工品の輸出)	○	○	8, 9	全学年		応相談
				A42	前田滋哉	生態水理学	農業水路の流れと魚類生息環境の保全	(農業水路における水の流れと環境)	○	○	3, 14, 15	全学年		月
				A43	牧山正男	農地環境工学	環境にやさしい水田 環境にきびしい水田	(水田農業と環境との関わり)	×	○	7, 13, 15	全学年		応相談

※一覧の「SDGs 該当番号」は次ページのSDGs17の目標番号に対応しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



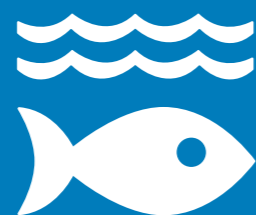
12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

